

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本ラッド株式会社

コード番号 4736 URL <http://nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 大塚 隆一

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5919-3001

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,753	24.2	△311	—	△298	—	△195	—
21年3月期第3四半期	3,023	—	8	—	△34	—	△63	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
22年3月期第3四半期	△48.89	—	
21年3月期第3四半期	△15.97	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	4,037	—	1,607	—	39.6	—	398.23
21年3月期	4,106	—	1,870	—	43.7	—	448.80

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,599百万円 21年3月期 1,795百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,924	30.1	91	△41.3	97	△2.0	39	△54.1	9.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名) 除外 2社 (社名 日本ラッド情報サービス株式会社
インサイト・インターナショナル
株式会社)

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	4,505,390株	21年3月期	4,505,390株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	488,205株	21年3月期	503,644株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	4,006,911株	21年3月期第3四半期	4,001,808株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、平成21年11月6日に公表いたしました業績予想に変更はございません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）におけるわが国経済は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、世界的な金融不安の影響や、デフレ懸念などのリスクの存在により、企業収益も弱く、依然として不透明感をぬぐえない状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においても、競争力強化に向けたIT投資意欲はあるものの、景気悪化に伴う企業収益の悪化の影響から、受注遅延や投資予算削減など、慎重な姿勢が続いていることから、依然として厳しい経営環境にあります。

このような環境の下、当社グループは、連結子会社である日本ラッド情報サービス株式会社を10月1日の効力発生日をもって吸収合併し、地図情報や車輛配車・運行管理を中心とした分野、病院向け再来受付機や自動精算機を中心とした分野、SaaS(Software as a Service)分野等、新しいビジネス展開のために人材の活用を行い、積極的に営業展開と事業推進を図っております。

一方で、労務費を中心とした製造固定費の圧縮やスタッフ業務の効率化に努め、コスト削減に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当第3四半期は、売上高37億53百万円（前年同期比24.2%増）、営業損失3億11百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常損失2億98百万円（前年同期は営業損失34百万円）、四半期純損失1億95百万円（前年同期は四半期純損失63百万円）となりました。

事業の種類別に示すと、次のとおりであります。

「ソフトウェア開発事業」は、制御通信系システム開発、業務アプリケーションシステム開発、基幹システムに特化した大規模システム開発等が中心であります。

当第3四半期は、首都圏以外の事業所の受注遅延や顧客単価の引き下げ等の影響を受けたものの、前連結会計年度の12月に譲受けした事業による収益増加や営業努力による既存顧客企業の維持や新規顧客企業との取引開始などにより、売上高26億19百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

「プロダクト販売その他事業」は、病院向け再来受付機等のハードウェア、デマンド交通システム等のパッケージソフトウェア、P2P(Peer-to-peer)やグリッド技術を利用したコンテンツ配信ソリューション、インターネットデータセンター事業、SaaS事業、人材派遣事業、連結子会社のCS放送局での委託放送事業等があります。

当第3四半期は、前連結会計年度の12月に譲受けした事業による収益増加や前連結会計年度末に加わった連結子会社が寄与したことにより、売上高11億34百万円（前年同期比68.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、40億37百万円となりました。

流動資産は、29億11百万円（前連結会計年度末は30億82百万円）となり1億70百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1億22百万円、現金及び預金の減少1億29百万円などによるものです。

固定資産は、11億25百万円（前連結会計年度末は10億23百万円）となり、1億1百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の取得による増加73百万円などによるものです。

(負債)

流動負債は、10億18百万円（前連結会計年度末は8億83百万円）となり、1億35百万円の増加となりました。これは主に、賞与の支給による賞与引当金の減少が1億14百万円あったものの、短期借入金の調達による増加1億9百万円、買掛金の増加85百万円などによるものです。

固定負債は、14億11百万円（前連結会計年度末は13億52百万円）となり、58百万円の増加となりました。これは主に、社債償還による減少が60百万円あったものの、長期借入金の調達による増加1億62百万円などによるものです。

(純資産)

純資産は、16億7百万円（前連結会計年度末は18億70百万円）となり、2億63百万円の減少となりました。これは主に、少数株主持分の減少68百万円、四半期純損失による連結剰余金の減少1億95百万円などによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、1億29百万円減少し15億65百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億25百万円の支出（前年同期は1億34百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少により1億7百万円の収入があったものの、賞与引当金の減少1億13百万円、棚卸資産の増加1億4百万円、税金等調整前四半期純損失2億29百万円などの支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億51百万円の支出（前年同期は29百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の取得73百万円、有形及び無形固定資産の取得56百万円などの支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億50百万円の収入（前年同期は2億90百万円の支出）となりました。これは主に、社債の償還により60百万円の支出があったものの、長期借入金の新規借入2億6百万円、短期借入金の新規借入1億9百万円などの収入によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間が当初計画どおり推移したことから、現時点では、平成21年11月6日の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、当社は、連結子会社でありました日本ラッド情報サービス株式会社を平成21年10月1日付で吸収合併しております。また、連結子会社でありましたインサイト・インターナショナル株式会社の全株式を売却しましたので、連結子会社から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更に伴う売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,565,293	1,695,262
受取手形及び売掛金	963,592	1,086,588
商品及び製品	68,140	90,906
仕掛品	175,560	110,957
原材料及び貯蔵品	23,659	17,881
その他	123,601	85,159
貸倒引当金	△8,019	△4,039
流動資産合計	2,911,829	3,082,715
固定資産		
有形固定資産	500,658	492,373
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	32,091	—
のれん	64,434	76,773
その他	19,001	22,778
無形固定資産合計	115,527	99,551
投資その他の資産		
投資有価証券	130,868	57,051
繰延税金資産	252,018	246,903
その他	188,999	190,375
貸倒引当金	△62,764	△62,704
投資その他の資産合計	509,122	431,626
固定資産合計	1,125,308	1,023,551
資産合計	4,037,137	4,106,267

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	380,376	294,543
短期借入金	173,000	64,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	—
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
未払法人税等	7,297	24,572
賞与引当金	19,697	134,536
受注損失引当金	2,446	3,314
債務保証損失引当金	27,305	—
事務所移転費用引当金	1,799	—
リース債務	2,251	2,185
その他	244,488	240,065
流動負債合計	1,018,657	883,218
固定負債		
長期借入金	162,671	—
社債	720,000	780,000
退職給付引当金	300,933	341,879
役員退職慰労引当金	216,344	212,299
負ののれん	6,418	10,608
リース債務	2,942	4,639
その他	2,094	2,992
固定負債合計	1,411,404	1,352,419
負債合計	2,430,062	2,235,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,425	880,942
利益剰余金	179,700	374,792
自己株式	△226,394	△233,558
株主資本合計	1,606,562	1,795,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,786	522
為替換算調整勘定	—	452
評価・換算差額等合計	△6,786	975
新株予約権	3,908	2,624
少数株主持分	3,390	72,023
純資産合計	1,607,074	1,870,629
負債純資産合計	4,037,137	4,106,267

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,023,037	3,753,642
売上原価	2,431,031	3,374,123
売上総利益	592,005	379,519
販売費及び一般管理費	583,956	691,325
営業利益又は営業損失(△)	8,049	△311,806
営業外収益		
受取利息	838	463
受取配当金	813	283
助成金収入	—	35,235
負ののれん償却額	45	—
不動産賃貸料	3,685	85
その他	706	2,493
営業外収益合計	6,089	38,561
営業外費用		
支払利息	7,628	12,465
社債発行費	7,224	—
為替差損	8,090	3,370
持分法による投資損失	23,060	6,104
貸倒引当金繰入額	—	2,042
不動産賃貸原価	2,228	1,136
その他	564	—
営業外費用合計	48,796	25,119
経常損失(△)	△34,657	△298,364
特別利益		
前期損益修正益	—	1,361
関係会社株式売却益	—	8,950
投資有価証券売却益	34,094	—
賞与引当金戻入額	23,327	82,872
その他	312	26,183
特別利益合計	57,734	119,368
特別損失		
販売権評価損	32,771	—
減損損失	6,617	—
債務保証損失引当金繰入額	—	27,305
退職給付費用	—	4,610
事務所移転費用	—	15,532
その他	1,300	2,973
特別損失合計	40,688	50,421
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,612	△229,418
法人税等	58,411	9,338
少数株主損失(△)	△12,097	△42,851
四半期純損失(△)	△63,926	△195,905

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,612	△229,418
たな卸資産評価損	—	54,225
減価償却費	24,262	21,970
販売権償却額	12,173	—
減損損失	6,617	—
のれん償却額	—	8,434
負ののれん償却額	△45	—
社債発行費	7,224	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,980	△38,216
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,266	4,045
賞与引当金の増減額(△は減少)	△85,188	△113,846
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	27,305
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,417	4,091
受注損失引当金の増減額(△は減少)	328	△868
受取利息及び受取配当金	△1,651	△746
支払利息	7,628	12,465
為替差損益(△は益)	7,806	2,481
有形及び無形固定資産除却損	—	1,523
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△8,950
持分法による投資損益(△は益)	23,060	6,104
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,094	—
投資有価証券評価損益(△は益)	401	—
販売権評価損	32,771	—
売上債権の増減額(△は増加)	151,405	107,118
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,948	△104,441
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,131	77,309
その他	43,189	△22,792
小計	169,860	△192,206
利息及び配当金の受取額	1,677	753
利息の支払額	△5,239	△11,114
法人税等の支払額	△32,164	△22,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,133	△225,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△7,882
有形固定資産の取得による支出	△6,561	△29,961
有形固定資産の売却による収入	—	190
無形固定資産の取得による支出	△7,309	△26,760
関係会社株式の取得による支出	△3,884	△19,600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△442
投資有価証券の取得による支出	△998	△73,100
投資有価証券の売却による収入	49,094	—
敷金の回収による収入	—	11,827
敷金の差入による支出	—	△6,358
その他	△988	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,351	△151,977

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18,000	109,000
長期借入れによる収入	—	206,000
長期借入金の返済による支出	—	△3,333
社債の発行による収入	292,775	—
社債の償還による支出	—	△60,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△1,631
自己株式の取得による支出	△31	△0
配当金の支払額	△19,869	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	290,874	250,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,806	△2,481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	446,553	△129,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,462,513	1,695,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,909,066	1,565,293

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	850,839	295,923	1,146,762	—	1,146,762
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,406	26,449	35,855	(35,855)	—
計	860,245	322,373	1,182,618	(35,855)	1,146,762
営業利益	3,135	190,567	193,702	(150,133)	43,569

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年2月28日）

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,032,637	396,965	1,429,602	—	1,429,602
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,100	—	9,100	(9,100)	—
計	1,041,737	396,965	1,438,702	(9,100)	1,429,602
営業利益	118,449	107,419	225,868	(120,075)	105,793

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) ソフトウェア開発事業 ・ ・ ・ ・ 制御・通信系ソフト開発
汎用・ミドル系ソフト開発
業務アプリケーション系ソフト開発
ハード・ファーム系ソフト開発

- (2) プロダクツ販売その他事業 ・ ・ ・ ・ ハードウェア、パッケージ・ソフトウェア販売、ロイヤルティ、委託
放送事業他

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,350,255	672,781	3,023,037	—	3,023,037
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21,830	74,451	96,281	(96,281)	—
計	2,372,085	747,233	3,119,319	(96,281)	3,023,037
営業利益	279,308	107,816	387,125	(379,075)	8,049

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,619,088	1,134,554	3,753,642	—	3,753,642
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,849	50,119	74,969	(74,969)	—
計	2,643,938	1,184,674	3,828,612	(74,969)	3,753,642
営業利益(又は損失)	77,618	(11,502)	66,116	(377,922)	(311,806)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) ソフトウェア開発事業 ・ ・ ・ ・ 制御・通信系ソフト開発
汎用・ミドル系ソフト開発
業務アプリケーション系ソフト開発
ハード・ファーム系ソフト開発

- (2) プロダクツ販売その他事業 ・ ・ ・ ハードウェア、パッケージ・ソフトウェア販売、ロイヤルティ、委託放送事業他

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年10月1日付で、連結子会社であった日本ラッド情報サービス株式会社を吸収合併いたしました。当該合併に伴い、保有する自己株式15,440株を合併による株式の割当に充当したこと等により、当第3四半期連結会計期間において自己株式が7,164千円減少し、自己株式処分差損の計上により利益剰余金が1,097千円減少しております。